

Advanced DV Converter

# ***ADVC-500***

User Manual

V1.0J

**canopus**

## ご使用の前に

### ■絵表示について

本製品を安全に正しくお使いいただくために、以下の内容をよく理解してから本文をお読みください。

#### 警告

人が死亡または重傷を負う恐れのある内容を示しています。

#### 注意

けがをしたり財産に損害を受ける恐れのある内容を示しています。



この記号はしてはいけないことを表しています。



この記号はしなければならないことを表しています。



この記号は気をつける必要があることを表しています。

### ■ご購入製品を使用される際の注意事項

ここでは、ご購入製品を使用されるときにご注意いただきたい事柄について説明しています。ご使用方法や、この内容について不明な点、疑問点などがございましたら、カノープス株式会社テクニカルサポートまでお問い合わせください。

#### カノープス株式会社

〒651-2241

神戸市西区室谷1-2-2

テクニカルサポート

TEL. 078-992-6830(10:00~12:00、13:00~17:00)

※土、日、祝日および当社指定休日を除く

#### 警告

##### ●製品のご利用についての注意事項

医療機器や人命に関わるシステムでは、絶対にご利用にならないでください。製品の性質上、これらのシステムへの導入は適しません。

##### ●静電気に関する注意事項

製品に静電気が流れると製品上の部品が破壊される恐れがあります。各コネクタや部品面には直接手を触れないでください。

静電気は衣服や人体からも発生します。製品に触れる前に、一旦接地された金属製のものに触れてください（体内の静電気を放電することになります）。

##### ●電源コードを傷つけない

電源コードを傷つけると、火災や感電の原因になります。

コードの上に重いものをのせたり、熱器具に近づけたりしないでください。また、コードを折り曲げたり、加工しないでください。ACアダプタを抜くときは、プラグ部分を持ってください。

コードが傷んだら、お買い上げの販売店もしくは、当社カスタマーサポートまで交換をご依頼ください。

##### ●キャビネットを開けない

キャビネットを開けたり改造したりすると、火災や感電の原因となります。

内部の点検、修理はお買い上げの販売店もしくは、当社カスタマーサポートまでご依頼ください。

##### ●ほこりや湿気の多い場所で使用しない

ショートや発熱が起こり、火災や感電の原因になります。

##### ●内部に水や異物を入れない

水や異物が入ると、火災や感電の原因になります。

万一、水や異物が入った場合は本体の電源を切り、電源コードをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店もしくは、当社カスタマーサポートまでご連絡ください。

##### ●国外では使用しない

本製品は、日本国内での使用を前提として設計されています。

海外では電源電圧が異なりますので、付属のACアダプタでは使用できません。使用すると、火災や感電の原因となります。

##### ●雷が鳴り出したら使用しない

本体やプラグには触れないでください。感電の原因になります。

##### ●ぬれた手でACアダプタを触らない

ぬれた手でACアダプタを抜き差ししないでください。感電の原因となります。

##### ●直射日光の当たる場所に置かない

日光の当たる場所や熱器具のそばに置かないでください。

火災や製品の故障の原因となります。



●煙が出た状態で使用しない

煙が出る、異臭がするなどの異常状態で使用しないでください。

火災や製品の故障の原因になります。

異常が発生したら、本体の電源を切り、電源コードを抜いて、煙が消えたのを確認してから、お買い上げの販売店もしくは、当社カスタマーサポートまでご連絡ください。



●製品が破損した状態で使用しない

本製品を落としたり、カバーを破損した状態のまま使用しないでください。

火災や製品の故障の原因になります。

製品が破損した場合は、本体の電源を切り、電源コードをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店もしくは、当社カスタマーサポートまでご連絡ください。



●本体を布などで覆わない

風通しの悪い場所や布で覆った状態で使用しないでください。

内部に熱がこもって、火災や製品の故障の原因となります。



●長期間使わないときはACアダプタを外す

使用しないときは、安全のためACアダプタをコンセントから外してください。



## 注意



●他社製品と併用されるときは注意事項

他社製品と併用されるとご購入製品が正常に動作しないことがあり、そのためにシステムが本来の目的を達成することができないこともあります。あらかじめ、製品単体の環境で購入製品が正常に動作することをご確認ください。また、他社製品との併用によって購入製品が正常に動作しないのであれば、その他社製品と購入製品との併用はお止めください。



●不安定な場所に置かない

不安定な台の上や傾いたところに置かないでください。

けがをしたり、製品の故障の原因となります。



●お手入れの際は電源を切る

接続するときやお手入れの際は、電源プラグを抜いてください。

感電や製品の故障の原因となります。

お手入れの際は、シンナーなどの揮発性の用材を使用してください。



●指定外のACアダプタを使わない

付属のACアダプタ以外の製品を使わないでください。

火災や製品の故障の原因となります。



●コード類は正しく配置する

電源コードやAVケーブルは整理して配置してください。

足にひっかけると、けがや製品の故障の原因となります。



## ご注意

- (1) 本製品の一部または全部を無断で複製することを禁止します。
- (2) 本製品の内容や仕様は将来予告無しに変更することがあります。
- (3) 本製品は内容について万全を期して作成いたしました。万が一ご不審な点や誤り、記載漏れなどお気付きの事がございましたら、当社までご連絡ください。
- (4) 運用した結果については、(3)項にかかわらず責任を負いかねますので、ご了承ください。
- (5) ご使用上の過失の有無を問わず、本製品の運用において発生した逸失利益を含む特別、付随的、または派生的損害に対するいかなる請求があったとしても、当社はその責任を負わないものとします。
- (6) 本製品付属のソフトウェア、ハードウェア、マニュアル、その他添付物を含めたすべての関連製品に関して、解析、リバースエンジニアリング、デコンパイル、ディスアセンブリを禁じます。
- (7) カノープス、CANOPUS/カノープスおよびそのロゴは、カノープス株式会社の登録商標です。
- (8) ADVCはカノープス株式会社の登録商標です。
- (9) Microsoft、Windowsは米国マイクロソフト・コーポレーションの登録商標です。Macintosh®は米国Apple Computer, Inc.の登録商標です。また、その他の商品名やそれに類するものは各社の登録商標です。



## 表記について

- 本書に記載されていない情報が記載される場合がありますので、ディスクに添付のテキストファイルも必ずお読みください。
- 本書での説明と実際の運用方法とで相違点がある場合には、実際の運用方法を優先するものとします。
- 本書はパソコンの基本的な操作を行うことができる方を対象に書かれています。特に記載の無い操作については、一般的なパソコンの操作と同じように行ってください。
- 本書ではMicrosoft® Windows® 2000 operating systemおよびMicrosoft® Windows® XP Home Edition/Professional operating systemをWindows 2000、Windows XP(Home EditionとProfessionalの総称)と表記します。



## 警告

### ■ 健康上のご注意

ごくまれに、コンピュータのモニタに表示される強い光の刺激や点滅によって、一時的にてんかん・意識の喪失などが引き起こされる場合があります。こうした経験をこれまでにされたことがない方でも、それが起こる体質をもっていることも考えられます。こうした経験をお持ちの方や、経験をお持ちの方の血縁にあたる方は、本製品を使用される前に必ず医師と相談してください。

### ■ 著作権について

テレビ放送やビデオなど、他人の作成した映像/音声をキャプチャしたデータは、動画、静止画に関わらず個人として楽しむ以外は、著作権法上、権利者に無断では使用できません。また、個人として楽しむ目的であっても複製が制限されている場合があります。キャプチャしたデータのご利用に対する責任は当社では一切負いかねますのでご注意ください。

ADVC-500  
User Manual  
Version 1.0J  
February 13, 2003  
Copyright © 2003 Canopus Co., Ltd.  
All rights reserved.

# 目次

<b>第1章 確認</b> .....	<b>1</b>
1. はじめに .....	2
1-1. 使用許諾契約書について.....	2
1-2. パッケージ内容の確認 .....	2
■ ADVC-500 同梱物.....	2
1-3. 当社ホームページについて.....	4
1-4. オンラインユーザー登録について.....	4
■ ご使用に当たっての留意事項.....	4
1-5. 制限事項について .....	5
■ 著作権保護機能について.....	5
■ 非標準信号について.....	5
■ ADVC-500 の接続について .....	5
2. 付属ソフトウェアの動作環境.....	6
2-1. パソコン本体について .....	6
■ 必要な動作環境 .....	6
2-2. 対応 OS 環境 .....	6
3. ADVC-500 の特長.....	7
■ 画質の追求 .....	7
■ 入力切替機能 .....	7
■ EIA 規格準拠 19 インチ ラックマウント対応 .....	7
■ PC を選ばない高い汎用性.....	8
<b>第2章 インストール</b> .....	<b>9</b>
1. インストール .....	10
1-1. Picture Controller のインストール .....	10
<b>第3章 基本説明</b> .....	<b>13</b>
1. 各部の名称と機能 .....	14
1-1. ADVC-500 フロントパネル .....	14
■ インジケータ部 .....	14
■ フロントパネルスイッチ部.....	15

1-2. ADVC-500 リアパネル .....	16
1-3. ディップスイッチ設定 .....	17
<b>2. 接続 .....</b>	<b>18</b>
2-1. ADVC-500 を接続する .....	18
■コンポーネント映像端子を持つVTRとPCの接続例 .....	18
2-2. アナログデータをパソコンに取り込む .....	19
2-3. パソコンで編集したものをVTRに録画する .....	20
<b>3. アプリケーションの起動 .....</b>	<b>21</b>
3-1. Picture Controller の起動 .....	21
3-2. Picture Controller のタブについて .....	22
■[コンポーネント]タブ .....	22
■[コンポジット]タブ .....	22
■[S-Video]タブ .....	22
■[バージョン]タブ .....	23
<b>4. 仕様 .....</b>	<b>24</b>

# 第1章

Advanced DV Converter

# **ADVC-500**

## 確認

この章では、ADVC-500のセットアップを行う前に確認していただきたい事項や、ご注意いただきたい事項について説明します。

- ・はじめに
- ・付属ソフトウェアの動作環境
- ・ADVC-500の特長

# 1. はじめに

## 1-1. 使用許諾契約書について

ADVC-500をご購入いただき、ありがとうございます。本製品付属のソフトウェアをお使いいただくにあたって、まずはじめに『Support Service Manual』のソフトウェア使用許諾契約書をお読みください。本製品に付属のソフトウェアをご利用いただくには、この使用許諾契約書の内容にご同意いただく必要があります。この使用許諾契約にご同意いただけない場合や、ご不明な点がありましたら、本書以外のパッケージを開封せずに下記カスタマーサポートまで書面にてご連絡ください。

このソフトウェア使用許諾契約は、お客様が『ディスクが入っている封筒』を開封された時点で内容にご同意いただいたものとさせていただきます。

カノーブスカスタマーサポート  
〒651-2241 神戸市西区室谷1-2-2 カノーブス株式会社

## 1-2. パッケージ内容の確認

ADVC-500のパッケージの中にp. 2およびp. 3記載の付属品が入っていることを確認してください。製品の梱包には万全を期しておりますが、万一不足しているものがありましたら、下記カスタマーサポートまでご連絡ください。

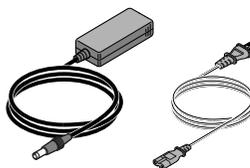
カノーブスカスタマーサポート  
電話：078-992-5846  
(※月曜～金曜 10:00～12:00/13:00～17:00 土日祝日および当社指定休日を除く)

### ■ ADVC-500 同梱物

ADVC-500 (1台)



ACアダプタ & ケーブル (各1本)



BNC-RCA 変換コネクタ (2個)



DV ケーブル [6pin-4pin] (1本)



ラックマウント用金具 (2個)

取り付けねじ (4本)

□ ディスク

ADVC-500をお使いいただくためのアプリケーションなどが付属しています。これらは、封筒の中に収められています。この封筒を開封する前に、別途付属しているSupport Service Manualの中のソフトウェア使用許諾契約の項目をお読みください。

付属しているディスクについては、封筒内の『ADVC-500に付属のメディア』をご参照ください。

□ マニュアル

- ・ ADVC-500 User Manual
- ・ Support Service Manual

□ ユーザー登録カード・ユーザー登録控え

本製品に関するさまざまなサービスをお受けいただくために、ぜひユーザー登録を行ってください(ご登録いただけていない場合には、一部のサービスについてお受けいただけないものがございます)。当社よりご提供させていただいているサービスについては『Support Service Manual』をご覧ください。

ユーザー登録カードの各項目に必要事項を記入し、ユーザー控えの部分を切り離して切手を貼らずにポストへ投函してください。切り離したユーザー控えは、ご購入いただきました製品の所有者であることを証明するものになりますので、本書と併せて大切に保管してください。また、本製品は当社ホームページにおいてオンラインユーザー登録も承っております。詳しくは『Support Service Manual』およびオンラインユーザー登録ページ(<http://www.canopus.co.jp/tech/regist.htm>)をご覧ください。

□ 保証書

保証書は、製品の動作確認や修理をお受けいただく際に必要になります。紛失された場合でも再発行はいたしませんので、大切に保管してください。

### 1-3. 当社ホームページについて

ADVC-500をはじめとする当社最新情報をホームページ(<http://www.canopus.co.jp>)にて発信しています。最新のドライバ、ユーティリティ、製品マニュアル、FAQなどを公開していますので、当社ホームページに是非アクセスいただき快適なパソコン環境を実現してください。

### 1-4. オンラインユーザー登録について

お客様がインターネットに接続できる環境であれば、ユーザー登録カードをご投函いただくなくとも当社ホームページ上でユーザー登録することができます。オンラインユーザー登録ページ(<http://www.canopus.co.jp/tech/regist.htm>)にアクセスしていただき、是非ご登録ください。

#### ■ ご使用に当たっての留意事項

ご使用上の過失の有無を問わず、本製品の運用において発生した逸失利益を含む特別、付随的、または派生的損害に対するいかなる請求があったとしても、当社はその責任を負わないものとします。

製品本来の使用目的及び当社が提供を行っている使用環境以外での動作は保証いたしかねます。

CPUなどを定格外でご使用の場合、本製品の動作保証は一切いたしかねます。

本製品を使用して他人の著作物（例：CD・DVD・ビデオグラム等の媒体に収録されている、あるいはラジオ・テレビ放送又はインターネット送信によって取得する映像・音声）を録音・録画する場合の注意点は下記の通りとなります。

- 著作権上、個人的又は家庭内において著作物を使用する目的で複製をする場合を除き、その他の複製あるいは編集等が著作権を侵害することがあります。収録媒体等に示されている権利者、放送、送信、販売元または権利者団体等を介するなどの方法により、著作者・著作権者から許諾を得て複製、編集等を行う必要があります。
- 他人の著作物を許諾無く複製または編集して、これを媒体に固定して有償・無償を問わず譲渡すること、またはインターネット等を介して有償・無償を問わず送信すること（自己のホームページの一部に組み込む場合も同様です）は、著作権を侵害することになります。
- 本製品を使用して作成・複製・編集される著作物またはその複製物につきましては当社は一切責任を負いかねますので予めご了承ください。



#### 「著作権保護機能について」

著作権保護信号を検出した場合は、輝度、コントラストの極端に下がったデータが出力されます。

## 1-5. 制限事項について

ADVC-500をご使用いただくにあたり、以下の制限事項がありますのであらかじめご確認ください。また、各アプリケーションの『Readme.txt』にはマニュアルには記載されていない事項などが記述されている場合がありますので必ずお読みください。

### ■ 著作権保護機能について

本製品はコピープロテクト等の著作権保護技術に対応しています。著作権保護信号の付加されたデータが入力されると、輝度、コントラストが極端に下がったデータが出力されADVC-500 リアパネルの STATUS の LED が点灯します。

### ■ 非標準信号について

ゲーム専用機が出力する信号のコンバートは可能ですが、ソフトウェアのタイトルによっては同期がとれない可能性があります。

### ■ ADVC-500 の接続について

ADVC-500を接続しているケーブルの脱着は、必ずパソコン本体の電源をオフにした状態で行ってください。



#### Unlocked モードについて

民生機器のUnlocked Audioはビデオ1フレームに対するオーディオサンプル数がある程度揺れることが許されており、この揺れの誤差が長時間蓄積されると音ずれの原因となります。それに対して、Locked Audioはビデオ1フレームに対するオーディオサンプル数がある規則の固定パターンに決められています。その為、オーディオデータをビデオに同期させるので音ずれが発生しません。

しかし、ゲーム機のように大幅に標準信号からずれた映像を入力したときにLocked モードを使用すると規則正しいオーディオサンプル数に合わせる限界を超えてしまうので音にノイズが入る事があります。この場合はUnlockedモードにすることでこの現象を回避することができます。

## 2. 付属ソフトウェアの動作環境

本製品に付属しているソフトウェアの動作環境は以下のとおりです。付属ソフトウェアはMacintoshには対応していません。

### 2-1. パソコン本体について

以下の条件を満たしている場合でもパソコン本体の問題によって正常に動作しない場合があります。以下に書かれている条件を満たしているすべてのパソコンでの動作を保証しているものではありません。

#### ■ 必要な動作環境

本製品をお使いいただくために最低限必要な環境です。

- ・ MMX をサポートした CPU
- ・ 128MB のメインメモリ (RAM)
- ・ 4MB の空きがあるハードディスク
- ・ IEEE1394 Interface カード

### 2-2. 対応 OS 環境

- マイクロソフト Windows 2000 Professional 日本語版 +SP3
- マイクロソフト Windows XP Home Edition 日本語版 +SP1
- マイクロソフト Windows XP Professional 日本語版 +SP1

## 3. ADVC-500の特長

### ■ 画質の追求

アナログ/DV変換部分の核となるDV Codecチップは、画質の点で高い評価を受けているカノープスオリジナルアルゴリズム仕様のDV Codecを搭載しているため、高画質での変換が可能です。

さらに、独立ユニットタイプを採用することにより、電源部から発生するノイズの影響を受けることなく、アナログ信号を出力することが可能となりました。

### ■ 入力切替機能

コンポーネントビデオ、コンポジットビデオ、S-ビデオやオーディオXLR、オーディオRCAの切り替えをフロント面のボタン一つで簡単に行なうことができます。

### ■ EIA 規格準拠 19 インチ ラックマウント対応

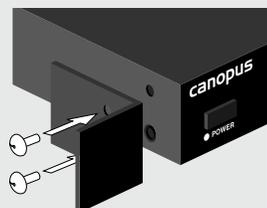
汎用フォーマットであるIEEE 1394インターフェース採用の独立ユニットですのでPC側に専用のハードウェアを必要とせずに簡単に接続することができます。

また、EIA規格に準拠した19インチタイプのため、ディレクターズラックへVTRと同時マウントすることができ、効率的な収納が可能です。



「ラックマウントに取り付ける場合は…」

- ① ADVC-500 をラックマウントに取り付ける場合はADVC-500 底面のゴム足4つをプラスドライバーで取り外します。
- ② ADVC-500 の左右側面のネジを取り外してください。
- ③ ラックマウント用金具を同梱のネジを使用して取り付けてください。



## ■ PC を選ばない高い汎用性

DV フォーマットを採用しているため、Windows や Macintosh といった PC の制約を受けることがありません。ユーザーは、現在使用されている環境を変更することなく IEEE 1394 インターフェースに接続するだけで、簡単にコンポーネントビデオ、コンジットビデオ、S-ビデオや、オーディオ XLR、オーディオ RCA 入出力機能を手に入れることができます。



### 「ラストメモリー機能とは…」

ユニットの電源を切る前の設定状態を記憶し、次回電源投入時にその内容を元に電源を切る前の状態と同じ動作モードにする機能をいいます(フロントパネルで切り替えたモードはすべて反映されます)。



### 「Locked Audio とは…」

本製品は音声を映像の速度に合わせて正確にデジタル化する Locked Audio を採用しました。映像と音声データをシンクロさせることにより、アナログ入力で音声がずれることはありません。映画などの長時間のコンテンツをコンバートする場合も安心です。

※ Locked Audio 機能はアナログから DV に変換する場合のみ有効です。DV-DV の接続時には機能しません。

## 第2章

Advanced DV Converter  
**ADVC-500**

# インストール

この章では、付属の画質調整アプリケーション『Picture Controller』のインストール手順について説明します。

- ・インストール

# 1. インストール

## 1-1. Picture Controller のインストール

ADVC-500 に付属の Picture Controller をインストールします。

※ Picture Controller のインストールに、ADVC-500 の接続の有無は関係ありません。

1

『ADVC-500 Application CD』を CD-ROM ドライブにセットしてください。



インストールが終了するまで『ADVC-500 Application CD』を CD-ROM ドライブから取り出さないでください。

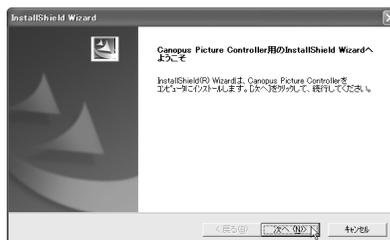
2

CD-ROM が自動起動します。

※CD-ROM が自動起動しない場合は、[スタート]メニューから[すべてのプログラム] (Windows 2000 環境では[プログラム])→[アクセサリ]→[エクスプローラ]と進んで『エクスプローラ』を起動し、CD-ROM を挿入したドライブを選択して開いてください。

3

[次へ]をクリックしてください。

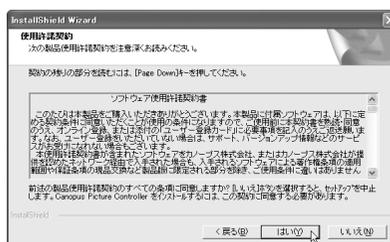


4

使用許諾契約が表示されますので、内容をよくお読みの上、同意される場合のみ[はい]をクリックしてください。

使用許諾契約に同意されない場合は、インストール作業を中断し、当社カスタマーサポートまで書面にてご連絡ください。

※使用許諾契約に同意されない場合、本ソフトウェアはご使用いただけません。



5

[次へ]をクリックしてください。

→ インストール先のフォルダを変更する場合は[参照]をクリックし、フォルダを指定してください。



6

必要なオプションを選択し、[次へ]をクリックしてください。

- 選択するオプションにチェックを付けてください。
- リリースノートにはマニュアルに記載されていない事項が記載されていますので、インストール時には必ずお読みください。

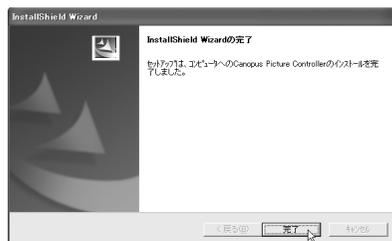


インターネットに接続できる環境であれば、ユーザー登録をオンラインで行うことができます。

7

[完了]をクリックしてください。

- Picture Controller のインストール完了です。



ADVC-500 には「ProCoder 体験版」が付属しています。「ProCoder 体験版」をインストールする場合は『ADVC-500 Application CD』を開き、[ProCoder 体験版]フォルダ内の[Setup.exe]をダブルクリックしてください。



## 第3章

Advanced DV Converter

# **ADVC-500**

### 基本説明

この章では、ADVC-500の各部の機能などを説明します。

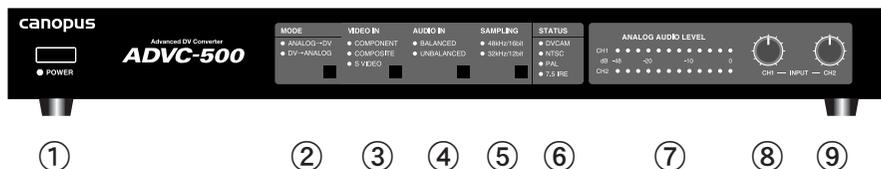
- ・各部の名称と機能
- ・接続
- ・アプリケーションの起動
- ・仕様

# 1. 各部の名称と機能

## 1-1. ADVC-500 フロントパネル

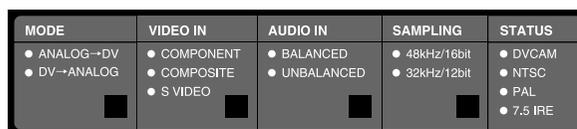
ADVC-500のフロントパネルには以下のようなコントローラおよびインジケータ類があります。

### ■ インジケータ部



- ① POWERスイッチ  
ADVC-500の電源をON/OFFします。
- ② MODEインジケータ  
選択されている動作モードを表示します。
- ③ VIDEO INインジケータ  
選択されているアナログビデオ入力を表示します。
- ④ AUDIO INインジケータ  
選択されているアナログオーディオ入力を表示します。
- ⑤ SAMPLINGインジケータ  
選択されているオーディオ・サンプリング周波数を表示します。
- ⑥ STATUSインジケータ  
選択されているビデオ規格を表示します(次頁参照)。
- ⑦ ANALOG AUDIO LEVEL(ピークレベルインジケータ)  
入出力しているオーディオのピークレベルを表示します。
- ⑧ ANALOG AUDIO LEVEL(INPUT-CH1)  
CH1にアナログ入力されたオーディオのレベル調整に使用します。ボリュームを時計方向に回すと入力時のレベルが大きくなります。
- ⑨ ANALOG AUDIO LEVEL(INPUT-CH2)  
CH2にアナログ入力されたオーディオのレベル調整に使用します。ボリュームを時計方向に回すと入力時のレベルが大きくなります。

## ■ フロントパネルスイッチ部



① ② ③ ④ ⑤

### ① MODEスイッチ

DV Codecの動作モードを切り替えます。スイッチを押すたびに「Encode動作」と「Decode動作」が切り替わります。また、「Encode動作」時には『ANALOG→DV』LEDが点灯し、「Decode動作」時には『DV→ANALOG』LEDが点灯します。

またMODEスイッチを3秒以上押すことでカラーバーを出力することができます。通常モードに戻るにはMODEスイッチをもう1度押してください。

※ カラーバー出力はアナログにのみ出力され、DVには出力されません。

※ MODEスイッチによるカラーバー出力は簡易的なものです。リファレンスとしてのご使用はあやめください

### ② VIDEO INスイッチ

『ANALOG→DV』モード時に3系統のビデオ入力を切り替えます。スイッチを押すたびにLEDの点灯が『COMPONENT』→『COMPOSITE』→『S VIDEO』の順に切り替わり、入力ソースも同様に切り替わります。『DV→ANALOG』モード時にはすべて消灯します(『DV→ANALOG』モード時にはスイッチは無効)。

### ③ AUDIO INスイッチ

『ANALOG→DV』モード時に2系統のオーディオ入力を切り替えます。スイッチを押すたびにLEDの点灯が『BALANCED』と『UNBALANCED』が交互に切り替わり、入力ソースも同様に切り替わります。『DV→ANALOG』モード時にはすべて消灯します(『DV→ANALOG』モード時にはスイッチは無効)。

### ④ SAMPLINGスイッチ

『ANALOG→DV』モード時に出力するDVのオーディオサンプリング周波数を切り替えます。スイッチを押すたびに、LEDの点灯が『48kHz/16bit』と『32kHz/12bit』が交互に切り替わります。『DV→ANALOG』モード時にはDV入力ストリームの情報を元に点灯します(DV入力モード時、スイッチは無効)。

入力されているDVのオーディオフォーマットが『48kHz/16bit』と『32kHz/12bit』以外の場合はLEDはすべて消灯します。

### ⑤ STATUSインジケータ

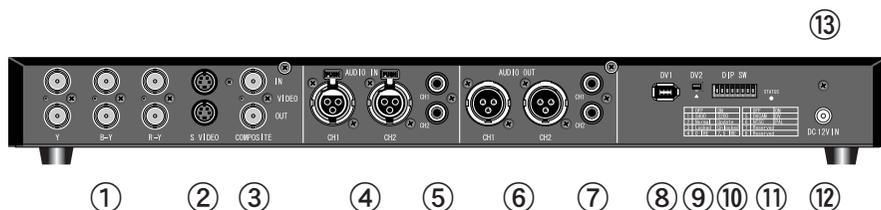
選択されているビデオ規格を表示します。

- 『ANALOG→DV』モード時  
ディップスイッチの設定に従い動作を行います(p. 17参照)。
- 『DV→ANALOG』モード時  
DVCAMステータスは、入力されているDVストリームのデータをチェックして切り替わります。DVCAMのステータス以外は、ディップスイッチの設定に従い下記の動作を行います。

	消灯	点灯
DVCAM	: DVモード時消灯	DVCAMモード時点灯
NTSC	: PAL時消灯	NTSC時点灯
PAL	: NTSC時消灯	PAL時点灯
7.5IRE	: 0IRE時消灯	7.5IRE時点灯(PAL設定時は、消灯)

## 1-2. ADVC-500 リアパネル

ADVC-500のリアパネルには以下のような接続端子類があります。



- ① コンポーネントビデオ接続端子  
コンポーネントビデオ信号入出力端子です。上段の3つの端子がビデオ入力、下段の3つの端子がビデオ出力です。
- ② Sビデオ接続端子  
Sビデオ信号入出力端子です。上段の端子がビデオ入力、下段の端子がビデオ出力です。
- ③ COMPOSITE接続端子  
コンポジットビデオ信号入出力端子です。上段の端子がコンポジット入力、下段の端子がコンポジット出力です。
- ④ AUDIO IN(バランスド入力)  
バランスドオーディオ入力端子です。背面パネルの向かって左側がCH1、右側がCH2です。
- ⑤ AUDIO IN(アンバランスド入力)  
アンバランスドオーディオ入力端子です。上段がCH1、下段がCH2です。
- ⑥ AUDIO OUT(バランスド出力)  
バランスドオーディオ出力端子です。背面パネルの向かって左側がCH1、右側がCH2です。
- ⑦ AUDIO OUT(アンバランスド出力)  
アンバランスドオーディオ出力端子です。上段がCH1、下段がCH2です。
- ⑧ DV接続端子(6pin)  
DVケーブルを使用してDV機器もしくはPCに接続します(バスパワーは供給しません)。
- ⑨ DV接続端子(4pin)  
DVケーブルを使用してDV機器もしくはPCに接続します。
- ⑩ ディップスイッチ  
ADVC-500に関する設定を行います(次頁参照)。
- ⑪ STATUS LED  
著作権保護信号検出時および異常時に点灯します。
- ⑫ DC 12V IN  
付属のACアダプタを接続します。
- ⑬ アース端子  
アース線を接続します。

**注意** 当社 DV 編集システム製品では HUB 接続できません。

**注意** OHC1 製品をご使用の場合でアプリケーションが複数の DV 機器を管理できる場合のみ HUB 機能での使用が可能となります。

### 1-3. ディップスイッチ設定

ADVC-500のリアパネルには以下のようなディップスイッチがあります。ディップスイッチは出荷時にはすべてOFFに設定されています。

ON ←	No.	MODE	OFF	ON
1	1	PHY SPEED	S400	S200
2	2	Update Mode	Normal	Update
3	3	Locked Audio Mode	Locked	Unlocked
4	4	NTSC Setup Level	0 IRE	7.5 IRE
5	5	DV/DVCAM	DVCAM	DV
6	6	Video Format	NTSC	PAL
7	7	Reserved		
8	8	Reserved		

#### SW1 PHY SPEED

PHY SPEEDを設定します。

OFF : S400                  ON : S200

#### SW2 Update Mode

内部ソフトウェア更新時に使用します(通常はOFFでお使いください)。

OFF : Normal                  ON : Update

#### SW3 Locked Audio Mode

Locked Audioモードの使用を選択します。DV時のみ選択可能です(DVCAM時は常にLocked Audioです)。

OFF : Locked                  ON : Unlocked

#### SW4 NTSC Setup Level

黒(セットアップ)レベルを設定します。ビデオフォーマット(スタンダード)がNTSCの場合のみ有効となります。

OFF : 0 IRE (日本)          ON : 7.5 IRE (北米)

#### SW5 DV/DVCAM

DVまたはDVCAMを選択します。

OFF : DVCAM                  ON : DV

#### SW6 Video Format

ビデオ信号形式を設定します。

OFF : NTSC                  ON : PAL

#### SW7 Reserved

使用しません(通常はOFFでお使いください)。

#### SW8 Reserved

使用しません(通常はOFFでお使いください)。



ディップスイッチの設定変更は、ADVC-500の電源を切ってから行ってください。

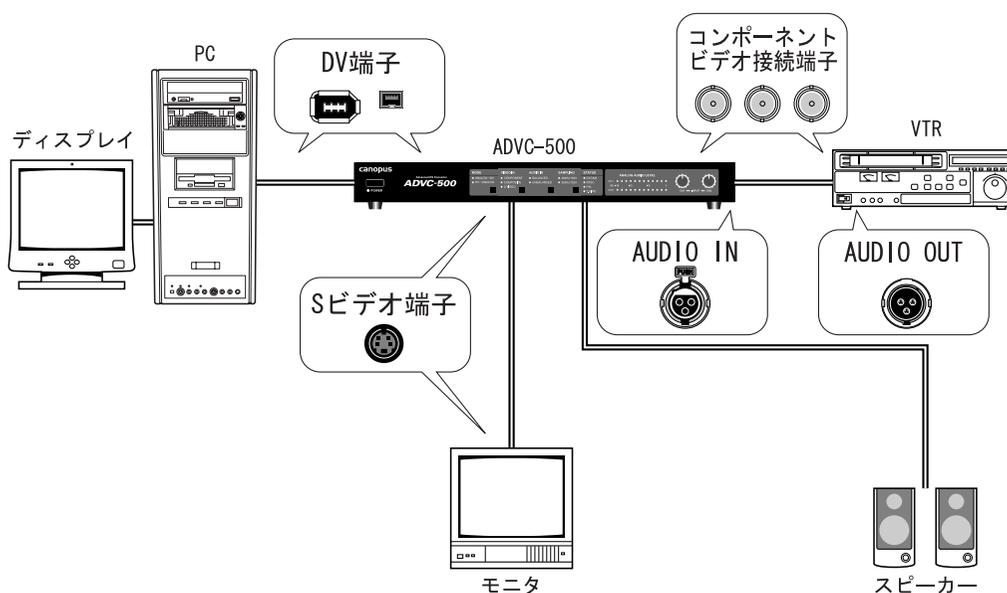
## 2. 接続

### 2-1. ADVC-500 を接続する

ADVC-500 を接続します。以下の図は、ADVC-500 の一般的な接続例を記載しています。

#### ■ コンポーネント映像端子を持つ VTR と PC の接続例

コンポーネント映像信号や音声信号を DV データに変換したり、テープへの録画を行うためにアナログ信号に変換します。



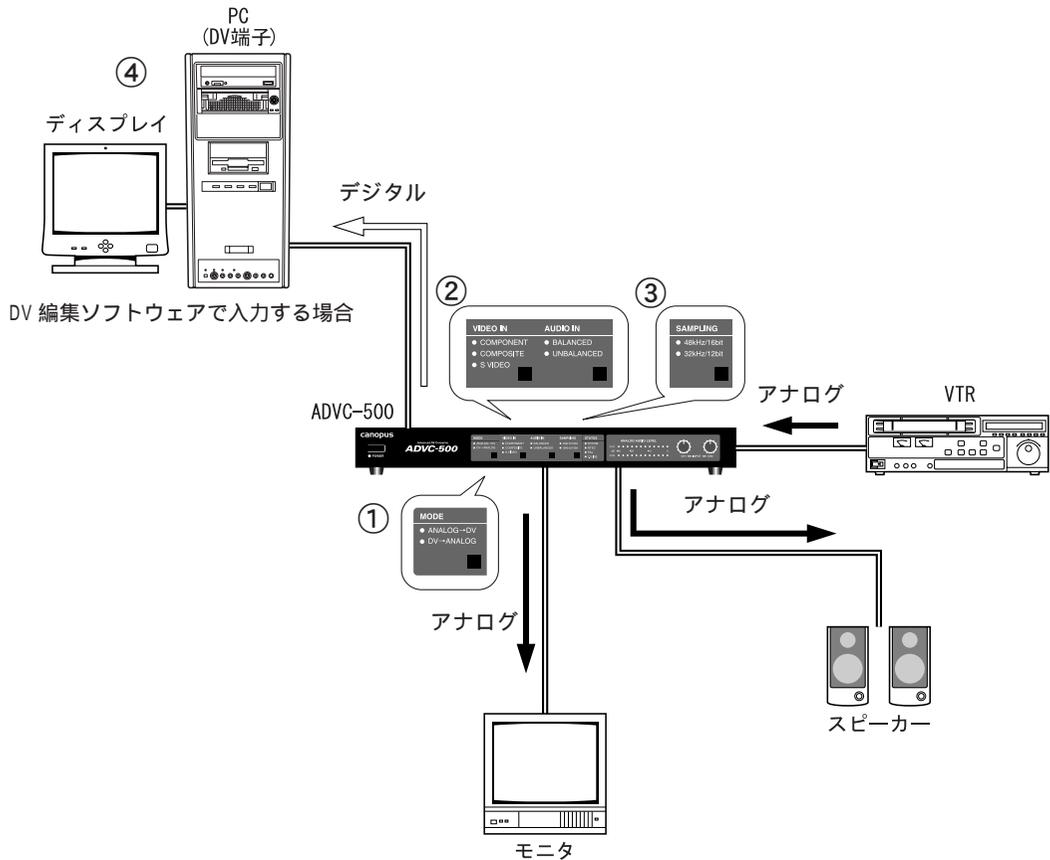
パソコンへのデジタルデータ変換やテープへの録画はパソコンに IEEE1394 ポートがあり、DV用の編集ソフトウェアが必要となります。



ADVC-500 とパソコンを接続する場合は、パソコンの電源が入っていない状態で行ってください。

## 2-2. アナログデータをパソコンに取り込む

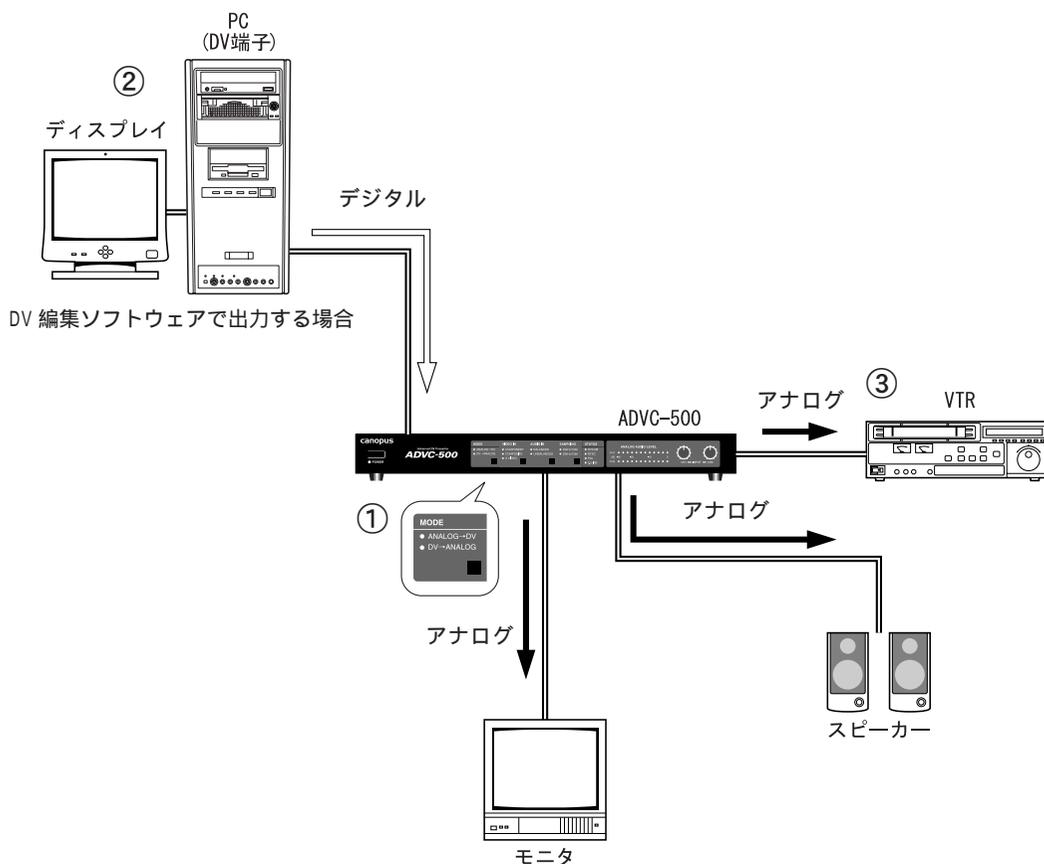
パソコンにVTRテープの素材を取り込みます(スタンドアローンでも動作します)。



- ① ADVC-500 フロントパネルの [MODE] スイッチを押して [ANALOG→DV] に切り替えてください。
- ② ADVC-500 フロントパネルの [VIDEO IN] スイッチ、および [AUDIO IN] スイッチを押して入力先を選択してください。  
※ [VIDEO IN] スイッチでは「COMPONENT」、「COMPOSITE」、「S VIDEO」のいずれかを、[AUDIO IN] スイッチでは「BALANCED」、「UNBALANCED」のどちらかを選択してください。
- ③ ADVC-500 フロントパネルの [SAMPLING] スイッチを押して出力を行うオーディオ周波数を選択してください。  
※ [SAMPLING] スイッチでは「48kHz/16bit」、「32kHz/12bit」のどちらかを選択してください。
- ④ DV 編集ソフトウェアを使用してキャプチャしてください。  
※ DV 編集ソフトウェアの操作方法については、ご使用の DV 編集ソフトウェアの取扱説明書を参照してください。

## 2-3. パソコンで編集したものをVTRに録画する

パソコンのDVデータをVTRに録画します。



- ① ADVC-500 フロントパネルの [MODE] スイッチを押して [DV→ANALOG] に切り替えてください。
- ② DV編集ソフトウェアを使用してデータを出力してください。  
※DV 編集ソフトウェアの操作方法については、ご使用のDV 編集ソフトウェアの取扱説明書を参照してください。
- ③ VTRでテープに録画を行ってください。

## 3. アプリケーションの起動

### 3-1. Picture Controller の起動

ADVC-500 に付属の Picture Controller を起動します。

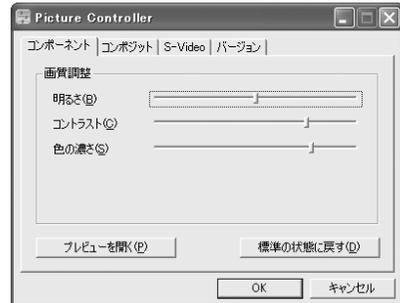
1

[スタート]→[すべてのプログラム] (Windows 2000環境では[プログラム])→[Canopus Picture Controller]へと進み、[Picture Controller]を選択してください。

2

Picture Controller が起動します。

→ タブの切り替えにより以下の設定画面が表示されます。



画質調整の設定値の保持数について

Picture Controller により、パソコンから 1394i/F 経由で次の 5 種類の画質調整が行えます。画質設定内容は、電源を OFF にした場合や ADVC-500 をパソコンから取り外した場合も有効となります。

1. 輝度調整 (256step)
2. コントラスト調整 (256step)
3. 色合い調整 (256step)
4. 色の濃さ調整 (256step)
5. シャープネス調整 (16step)

画質設定は、入力別に独立して記憶します。

- コンボジット
- S-VIDEO
- コンポーネント

ただし、下記のカラーフォーマットに共通で使用されるため、フォーマットの設定を変更し必要な場合は別途画質調整を行ってください。

画質調整の初期値は、NTSC 0IRE, NTSC 7.5IRE, PAL それぞれに持っています。

NTSC 0IRE, NTSC 7.5IRE, PAL が変更されて電源を ON にした場合、画質調整は変更内容を初期値に設定します。

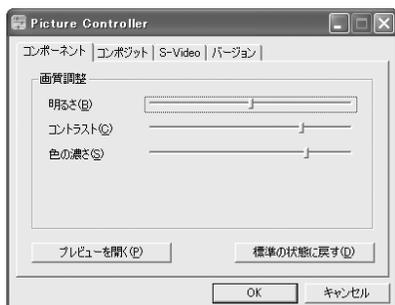
- NTSC (0IRE)
- NTSC (7.5IRE)
- PAL

## 3-2. Picture Controller のタブについて

アナログ入力時の設定を行います。Picture Controllerは4つのタブで構成されています。

### ■ [コンポーネント]タブ

コンポーネント信号入力時の画質調整を行います。明るさ、コントラスト、および色の濃さの設定を行います。



**プレビューを開く**

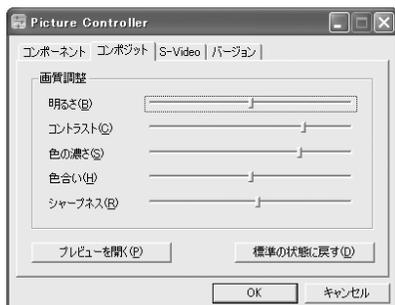
プレビュー画面を表示します。

**標準の状態に戻す**

初期値に設定を戻します。

### ■ [コンポジット]タブ

コンポジット信号入力時の画質調整を行います。明るさ、コントラスト、色の濃さ、色合い、およびシャープネスの設定を行います。



**プレビューを開く**

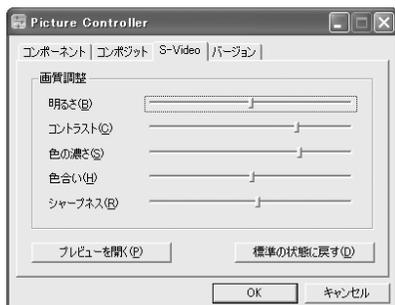
プレビュー画面を表示します。

**標準の状態に戻す**

初期値に設定を戻します。

### ■ [S-Video]タブ

S-Video信号入力時の画質調整を行います。明るさ、コントラスト、色の濃さ、色合い、およびシャープネスの設定を行います。



**プレビューを開く**

プレビュー画面を表示します。

**標準の状態に戻す**

初期値に設定を戻します。



Picture Controller を使用して画質調整を行っている間は、ADVC-500 フロントパネルのスイッチを押さないでください。

## ■ [バージョン]タブ

Picture Controllerのバージョン情報を表示します。



## 4. 仕様

一般	電源	外部電源ジャック定格 DC12V, 2A
	消費電流	+12V、1.9A
	動作温度	10℃～35℃
	動作湿度	40%～80%(結露のないこと)
	保存温度	-20℃～60℃
	保存湿度	20%～80%(結露のないこと)
	外形寸法	EIA規格準拠 19インチラックマウント可能 430mm(W)x170.8mm(D)x44mm(H)(突起物除く)
デジタルビデオ	形式	DV/DVCAM
	入出力端子	IEEE1394 4pin x1
		IEEE1394 6pin x1
ビデオサイズ	720x480ピクセル(NTSC) 720x576ピクセル(PAL)	
デジタルオーディオ	サンプリングレート	32kHz/12bit 2ch
		48kHz/16bit 2ch
	Locked Audio	ON/OFF
アナログビデオ	入力端子	コンポジット(BNC) x1
		S-VIDEO(ミニDIN 4ピン) x1
		コンポーネント(BNCx3) x1
	出力端子	コンポジット(BNC) x1
		S-VIDEO(ミニDIN 4ピン) x1
		コンポーネント(BNCx3) x1
	ビデオサイズ	720x480ピクセル(NTSC) 720x576ピクセル(PAL)
アナログオーディオ	入力(平衡)	XLR-3-31(メス、1番GND、2番HOT、3番COLD)
	入力(不平衡)	RCAピンジャック
	出力(平衡)	XLR-3-32(オス、1番GND、2番HOT、3番COLD)
	出力(不平衡)	RCAピンジャック
	バランスド・オーディオの負荷はハイインピーダンス(数10kΩ)と、ローインピーダンスの600Ωに対応	

前面パネル		Power SW		
		MODE: Analog to DV / DV to Analog		
		VIDEO IN: COMPOSITE / S-VIDEO / COMPONENT		
		AUDIO IN: BALANCED / UNBALANCED		
		SAMPLING: 48kHz/16bit / 32kHz/12bit		
		オーディオ入力レベル調整ボリューム x2		
		オーディオレベルメーター		
		DVCAM / NTSC / PAL / 7.5IRE インジケータ		
		背面パネル コネクタ		入出力端子
IEEE1394 4pin x1				
IEEE1394 6pin x1				
アナログビデオ・ 入力端子	コンポジット(BNC) x1			
	S-VIDEO(ミニDIN 4ピン) x1			
	コンポーネント(BNCx3) x1			
アナログビデオ・ 出力端子	コンポジット(BNC) x1			
	S-VIDEO(ミニDIN 4ピン) x1			
	コンポーネント(BNCx3) x1			
アナログ オーディオ	入力(平衡)			XLR-3-31(メス、1番GND、2番HOT、3番COLD)
	入力(不平衡)			RCA ピンジャック
	出力(平衡)			XLR-3-32(オス、1番GND、2番HOT、3番COLD)
	出力(不平衡)			RCA ピンジャック
DIP-SW				
STATUS LED				
電源コネクタ				

